

六方よし経営と新4P

立教大学大学院 ビジネスデザイン研究科 特任教授

巴創業塾主宰

藻谷 ゆかり



目 次

概要	1
はじめに	1
1. 自己紹介	2
(1) 北御牧村に移住	2
(2) 長野県東御市とは	2
(3) これから経営課題	3
2. 立教大学大学院ビジネスデザイン研究科（立教ビジネススクール）について	4
(1) 藻谷氏が教えようとしていること	4
(2) 立教ビジネススクールが育成するビジネスクリエイターのスキル	4
(3) ビジネスデザイン	5
3. 六方よし経営 People と Planet に良い経営	5
(1) 二方よし／三方よし	5
(2) 六方よし	6
(3) 六方よし経営	7
(4) 事業承継の事例 石川県能都町 数馬酒造	7
(5) 六方よし経営への具体的なプロセス	10
(6) 経済善と社会善の両立	10
(7) 六方よし経営の取り入れ方	10
(8) 六方よし経営のメリット	11
4. 4P から新4P へ	11
(1) 新4P by 藻谷ゆかり	11
(2) Product Naming 商品名	11
(3) Pricing (価格付け) と Packaging (パッケージ)	14
(4) Partnership (協働関係)	15
おわりに	16

概要

近江商人の三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）に「作り手よし、地球よし、未来よし」を加えて、持続可能な経営をする「六方よし経営」の理論と事例を紹介し、これから時代のマーケティング戦略「新4P」について解説する。

ポイント

- ・三方よし経営
- ・六方よし経営
- ・マーケティングの4P
- ・新4P

はじめに

まず自己紹介をする。1963（昭和38）年に横浜市で生まれ、子供時代は高度経済成長期で、親世代が何をやってもうまくいく時代とその後のオイルショックは記憶に残っている。バブル期の始まりの1986年、大学を卒業。金融機関勤務を経て1989～1991年、ハーバード・ビジネススクールで学びMBAを修了した。その後外資系メーカー2社を経てインターネットの黎明期だった1997年、インド紅茶の輸入／ネット通販会社を起業。2002年、長野県の当時の北御牧（きたみまき）村、現在の東御市（とうみし）に家族5人で移住。2018年、21年間経営した会社を地元の女性に事業譲渡。

現在は地方移住×起業×事業承継などについて経営エッセイストとして活動する傍ら全国の自治体や商工会議所等で講演をしている。2024年4月から立教ビジネススクールで特任教授。長野県と池袋の二拠点生活をしている。

著作はビジネス書が4冊。『衰退産業でも稼げます』、コロナになってから緊急出版した『コロナ移住のすすめ』、そして本日のテーマである『六方よし経営』。一番新しい本が『山奥ビジネス 一流の田舎を創造する』だ。

藻谷（もたに）姓は珍しく、日本国内に50人程度だ。夫は経済エコノミストでスフィンクス・インベストメントリサーチ代表の藻谷俊介、義弟に地域エコノミストで日本総合研究所主席研究員の藻谷浩介、古脊椎動物（魚竜）研究者でカリフォルニア大学デービス校教授の藻谷亮介が居る。

本日は3冊目の著作『六方よし経営』について主に話していく。

1. 自己紹介

(1) 北御牧村に移住

① 都会の中学校受験戦争から疎開

2002 年に千葉県浦安市から長野県東御市に家族 5 人で移住をした。3 人の子どもたちに都会の中学校受験をさせたくないということが夫と私の希望であり、そこから疎開をしたという感じだ。移住がしたかったというよりは子どものために移住をした。

② 東京駅から 2 時間以内

転居先は東京駅から 2 時間以内という条件で探した。夫が金融機関／投資家対象に経済情報を販売する会社で定期的なプレゼンテーションをしていたためだ。

当時は 1998 年の長野オリンピックで長野新幹線が通じており、土地の価格も湿度も高い軽井沢の先にある佐久平駅か上田駅を利用した地域でハウスハンティングをした。

③ 北御牧村が宅地を開発

当時の北御牧村が非常に珍しいことに別荘地ではなく移住者を求めて宅地開発をしており、浅間山を望む場所に土地が見つかった。当時、子どもを連れて移住をする人はほとんどおらず、多くは定年退職後の田舎暮らしだった。

この北御牧の風景は「一流の田舎」である。綺麗な田舎が東京駅から 2 時間以内にあるというのは素晴らしいことであり、本当にこの土地での暮らしには満足した。

(2) 長野県東御市とは

① 東御市概要

人口 3 万人弱。旧東部町と旧北御牧村が合併した歴史から「とうみ」と呼ばれている。位置的には上田市と小諸市の間で、東京駅までは自宅から新幹線駅まで車を使用し 1 時間半程度。

日本で最も雨が少ない地域で、くるみと巨峰とワインが特産物のいわばカルフォルニア気候だ。雪はほとんど降らない。

② 市内の交通

最寄り駅であるしなの鉄道田中駅と立教大学のある池袋駅の一日の乗降客数を比較する。JR／私鉄 2 線／地下鉄 3 線を擁する池袋駅は 264 万人／日、日本でも 3 番目に乗降客数が多い。自宅から徒歩 90 分の田中駅は 955 人／日。朝夕のみ有人の無人駅であり、高校生とごく一部の通勤客の利用のみである。

駅まで行くにも車が必要な地方では車社会が進んでいる。2023 年末に市内唯一のタクシー会社が廃業。昨年急用ができ広域タクシーを手配したところ、運転手が 80 歳であった。地方には依然として住んでいるが働く人が少ない。タクシーの場合、車はあっても運転